



## 汐入再開発前の思い出

都立産業技術高専名誉教授 吉田喜一

旧都立航空高専は1962年（昭和37年）創立されました。現在の水神大橋のもとに鑄造・鍛造工場がありました。昨年50周年を迎えました。私は1963年航空高専・機械工学科に入学しました。その後縁あって母校の教員になりました。汐入地域再開発に伴い、校舎は今からちょうど20年前、93年現在地に移転しました。つまり約30年間、再開発前の汐入に通ったことになりました。

思い出はたくさんあります。私の研究室の機械工場の隣はコンクリートの壁を隔てて高橋造船所でした。毎日船のリベットを打つ音を聞きながら過ごしていました。まだ耳に残っています。高橋造船の閉鎖前に、社長や職人さんとお酒を飲みながら、各種資料をいただき昔話をしました。荒川区で最後の造船所を記念して、適当な時に産業考古学会で発表した

いと思っています。

当時、汐入には2件の銭湯がありました。確か、汐の湯と浩気湯という名前だったと思います。入口が大変すばらしい格式あるものでした。若いころは学生と一緒にしよつちゅう学校に泊まり込んで、実験や論文書きをして泊まり込みました。そしてこれらの銭湯にもたびたびお世話になりました。

旧校舎には大した食堂がなかったので、汐入のお店にお世話になりました。松本屋さんには大変お世話になりました。その少し向こうにおじいさんとおばあさんがやっている、手打ちのラーメン屋さんにも通いました。ニチボウ（現ユニチカ）の教習所が学校の前にあってその食堂にも通いました。また栄華という中華屋さんのもやしそばは大変おいしかったです。

旧校舎の校門から夕方のグラウンド富士が見えました。夕方こうもりが飛び交う向こうに夕焼けの富士山は大変幻想的でした。私も昔の汐入の面影がだんだんなくなってきました。ボケる前に現在の汐入と昔の汐入を重ねたマップを作って、今いるところが昔のどこだったのかを記したいと思っています。



## 手造りジャムを味わいながら、思うこと

こんにちは。南千住5丁目・メガネのサトウ四代目です。私は、旬の果物を食べるのが大好きで、スーパーや八百屋さんの店頭で、美味しそうなものが手頃な値段で並んでいると自然と手が伸びてしまいます。夏はスイカやメロン、秋はブドウや梨、冬はミカン、そして春は何と言ってもイチゴです。（ちなみに、桃とリンゴは親戚から分けて頂くため、あまり買ったことはありません。）先日、小ぶりのイチゴが箱（4パック相当）で売られているのを見つけ、喜んで買って帰りました。さすがに全部は食べきれないので、砂糖とレモン汁を加えて鍋で煮たところ、市販品に勝るくらい（？）香り高く美味しい手造りジャムになりました。

ところで、市販されている一般的なイチゴジャムのイチゴ（原材料）は、ほとんどが輸入品であることを皆さまはご存じでしょうか？あるメーカーのウェブサイトによれば、「中国・チリ・アメリカ産がメインである」とのことです。私がスーパーのジャム売場で確認したところ、国産イチゴを使用した商品には別途その旨表示があり、値段もやや高い傾向がありました。裏を返せば、比較的安価で特に何も表示されていない商品は、輸入イチゴ使用品と見て間違いないと思います。

食の安全をめぐる事件がしばしば生じる

昨今、消費者の中には、食品の原産地について関心を持つ人が少なくありません。JAS法（「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律」）により、生鮮食品については原産地の表示が義務づけられています。しかし、ジャムのような加工食品については、海外で加工・製造された商品については原産国の表示が義務づけられている（例：中国で製造、瓶詰めされたジャム）。「中国産」ものの、国内で加工・製造された商品については、一部の食品を除いて（例：もち、乾燥野菜・果実・きのこ、緑茶など）、現在のところ特に原材料の原産地までを表示する義務は無いのです。

故・ケネディ大統領は、消費者には「安全を求める権利・選ぶ権利・情報を与えられる権利・意見を聴いてもらう権利」があると提示しました。今、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉参加を巡り議論が絶えません。今後、貿易が一層活発になり、輸入品に接する機会が増えるとなれば、消費者である私たちはこれまで以上にこうした権利を追求する必要があるように思います。

■メガネのサトウ■  
南千住5丁目43の13【コッ通り】  
TEL 03（3806）4930



TEL 03（3806）4930

★休業日のごあんない【不定休です】★

3月：25（月）

4月：8（月）、18（木）、28（日）

★営業時間のごあんない★

平日（月～金）：AM 9時30分～PM 7時：※

3月27日（水）は、ひる1時で終了とさせていただきます。（メガネレンズ勉強会出席のため）

土・日・祝日：AM 10時30分～PM 6時